

補助事業番号： 21-1-017

補助事業名： 平成21年度 自転車環境整備促進等補助事業

補助事業者名： 財団法人 自転車産業振興協会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

環境にやさしい自転車社会に向けて、自転車の再生利用を推進し、自転車競技人口の底辺拡大、自転車の正しい利用促進等の自転車有効活用を図り、もって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

① 再生自転車の海外供与協力促進

再生自転車海外譲与自治体連絡会（MCCOBA）の平成21年度事業計画及び実施要領に基づき、次のとおり再生自転車の海外供与に伴う費用分担のうえ、次のとおり実施した。

(アジア) カンボジア王国 等	6カ国	計	1, 170台
(大洋州) フィジー諸島	1カ国	計	160台
(中東) アフガニスタン・イスラム共和国	1カ国	計	320台
(アフリカ) リベリア共和国 等	4カ国	計	1, 480台

合計 延12カ国 合計 3, 130台

② 地域自転車競技振興促進

本年度の選考方針に基づき、ロードレース、MTB、BMX及びその他の競技会を実施する団体の39大会に対して、各主催者との費用分担のうえ、次のとおり実施した。

(ロードレース)

第2回パナソニックヒルクライムIN伊吹山ドライブウェイ 等

17大会 参加者 13, 934人

(MTB)

第6回かかみ野MTBフェスティバル 等

12大会 参加者 2, 930人

(BMX)

キング オブ グラウンド ROUND 1

2大会 参加者 127人

(その他)

第24回みなと酒田トライアスロンおしんレース 等

8大会 参加者 6,735人

合計 39大会

23,726人

③ オリンピックフェスティバルへの参加

オリンピックフェスティバルに代わり、平成21年10月12日に味の素ナショナルトレーニングセンター／国立スポーツ科学センター／西が丘サッカー場にて開催された「平成21年度『体育の日』中央記念行事2009スポーツ祭り」へ協賛するとともに、自転車競技PRコーナーにて自転車点検やパレスサイクリング周知のパネル展示のほか、競技用自転車の展示、自転車スピードチャレンジなどを展開した。

④ パレスサイクリング等運営

自転車の貸出・規制等業務

パレスサイクリングにおいて、貸出用自転車250台により、毎日曜日に40回開催し、自転車貸出数40,619人、自走・持込者推定47,881人、合計88,500人の利用があった。また、名城公園内サイクリングコースにおいて、貸出用自転車256台により、毎日曜日・祝祭日及び特定土曜日に自転車貸出業務を76回開催し延べ31,916人の利用者があった。

⑤ 自転車安全利用推進等

1) SBAA・BAAマーク広報

消費者の安心・安全を第一に考えた、「自転車安全基準」の目印となるSBAA・BAAマーク制度についての周知徹底を図るため、BSフジでの「自転車専科」の放映、SBAA・BAAマーク貼付車の展示、試乗会等に関する「CYCLISH LIFE」イベントの実施、また、同制度に関するPR用リーフレットを作成のうえ、SBAA・BAAマーク制度に関する広報を実施した。

2) パブリシティ活動

- ・東京新聞朝刊、月刊「時評」に対してパレスサイクリング関連の広告掲載を行った。
- ・マスコミ対応用としてのパレスサイクリング広報用写真を撮影の上のCDに収録した。

2. 今後予想される効果

① 再生自転車の海外供与協力促進

社会的な国際貢献及び国内における放置自転車の再利用促進において有意義であるとともに、国際的にも高い評価を受け、今後、リサイクル及び国際貢献を一層促進させる効果が期待される。

② 地域自転車競技振興促進

各地域での自転車競技大会等の開催は各種自転車競技の普及及び振興を促進し、自転車競技人口の拡大が図れ、かつ、地域活性化に貢献するものと期待される。

③ オリンピックフェスティバルへの参加

「平成21年度『体育の日』中央記念行事2009スポーツ祭り」の開催により同イベントを通じて自転車の持つ本来の魅力をアピールすることができ、サイクルスポーツ人口の底辺拡大につながるものと期待される。

④ パレスサイクリング等運営

本事業の実施により、地球温暖化防止策の一環として注目されている、自転車の安全利用の拡大と交通事故防止推進のための貢献が期待される。また、パレスサイクリング年間約8万人、名城自転車天国年間約2万人を超える多くの利用者が訪れるイベントとして、幼児から高齢者に至る市民の健康及び体力増進に寄与し健全で明るい社会づくりに役立つものと期待される。

⑤ 自転車安全利用推進等

消費者の自転車に対する品質意識が高まり、より安心・安全な自転車を購入する意識、意欲が促進され自転車利用における安全性確保に寄与することが期待できる。また、メーカー、販売店においては、より付加価値の高い、高品質な自転車の需要が促進されると期待される。

3. 本事業により作成した印刷物

- ① パレスサイクリング運営 パレスサイクリング貸出自転車利用申込書 50,000枚
- ② 自転車安全利用推進 消費者向けリーフレット 1,900,000部

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名：財団法人自転車産業振興協会（ジテンシャサンギョウシンコウキョウカイ）

住所：107-0052 東京都港区赤坂1-9-3

代表者名：会長 阿部 忠壽（アベ タダヒサ）

担当部署：統括事業部

担当者名：統括事業部 次長 丸山 俊英（マルヤマ トシヒデ）

電話番号：03-5572-6401

F A X：03-5572-6407

U R L：<http://www.jbpi.or.jp/>